



ふれ愛あもい

あもい
明るく萌える 理想の安茂里

安茂里地区住民自治協議会広報誌

発行 安茂里地区住民自治協議会広報委員会
事務局 長野市大字安茂里1777番地1
TEL 026-266-0527
TEL・FAX 026-266-0597
ホームページ <http://www.amori.jp>

あけましておめでとうございます

「地域の特性を生かした、魅力あるまち」づくり

安茂里地区住民自治協議会 会長 荒井 訓夫



安茂里地区の皆様には、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日頃は、住民自治協議会(住自協)に対しまして、ご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスで、滞っておりました各地区の行事も以前の形に戻って参りました。お陰様で、安茂里も活気付いて来ており、ありがとうございます。

安茂里地区でも、三大イベントとして行われました、安茂里の「スポーツの祭典」「アモーレフェスタ」「福祉バザー」等は皆さんのご協力の下、盛大に無事実施出来ました事に対しまして、深く感謝申し上げます。

安茂里地区まちづくり計画も、第3期として令和3年～7年まで「安茂里地区地域福祉計画」を包括するものとして、各部会が計画を推進、実行中です。

昨年は、土砂災害警戒情報発令(警戒レベル3)も殆ど無く、助かりましたが、毎日猛暑で暑さに悩まされる日が続く、長野市の真夏日は過去最長の53日間にもなりました。

温暖化の影響なのか、いままで想像できなかったことが起きています。安茂里地区には、犀川、裾花川、に挟まれ、15もの沢があり想定外の降雨時は「土砂災



害」と「水害」の心配と不安が付きまといます。

安茂里住自協としても毎年、長野県や長野市と共にパトロールを行い危険箇所の確認と工事等の対処依頼を行って居る所ですが、皆様の命を守るためには、これだけでは不十分で、行政に出来る事は全てやってもらったとしても、どうしても最後は、その地域で地域にあった対処が必要と痛感しています。

自分たちの命はその地域の「支え合い」で守ることを準備しておくことが必要で、そのやり方は、その地域の実情に合った方法を探し出すことになります。

そこで、昨年の11月「区長さんを中心にした」福祉関係団体合同研修会のおりに、地域の優先度が高い課題に取り組むため、「区長OBさん」を中心に第一歩を踏み出してほしいとお願いしました。

区長経験者を中心にして、皆様の地域にあった「支え合い」の方法を見つけ、「笑顔で心豊かに暮らせるまち」作りを進めることが、「災害に強い街」に直結するものと確信しています。区長OBの皆様の奮闘を祈るとともに、住民の皆様の強力なご支援とご協力をお願いします。

結びにあたり、安茂里地区皆様方、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



令和5年

9月中旬から11月中旬までの 主な行事紹介。



9月21日（木）

犀川神社秋季例大祭開催

令和元年以来4年ぶりの開催。開始時間を1時間早めでの実施。四区三頭による太々神楽、獅子舞、杜煙火との共演による奉納。久々の犀川神社秋季例大祭宵宮祭。安茂里の伝統、芸能、これから先も伝承していきたい安茂里の文化です。



10月4日（水）

健康福祉部会 ノルディックウォーキング講習会

10月4日、参加者17名でノルディックウォーキング講習会が開催されました。今回は、善光寺七福神を巡りながら、約3.5kmを歩きました。講師の清水インストラクターの解説もあり、学びながら楽しく心も体もリフレッシュすることができました。



10月15日（日）

スポーツの祭典（秋の部）開催

朝までの雨に心配しながら、ソフトバレー、マレットゴルフ、サッカー教室、スポーツ吹き矢に多くの参加者を得て、無事開催できました。関係者の皆さんご苦労様でした。



10月29日（日）

第17回アモーレフェスタ開催



天候が心配される中、裾花小学校マーチングバンドの皆さんによる力強いオープニング演奏で始まりました。安茂里甚句保存会の皆さんの発表。今年も安茂里小学校の落語「ジュゲムジュゲム」で会場が大笑いに。快楽亭狂志先生の落語に再度大笑いに。バルーンアートに子供たちも大喜び。途中から雲行きがあやしくなり、室内会場へ。安茂里吹奏楽団、山王小学校のダンス、最後はやっぱり裾花中学校吹奏楽部の素晴らしい演奏。観客



（地方発送承ります）

第22回全国菓子博技術大賞
第25回全国菓子博外務大臣賞

大自然の恵みを
ふんだんに受けた
「戸隠そば本舗」の香り高いそば粉で
やさしく、味わい深く仕上げます。

蕎麦 戸隠
そばおぼろ



旬彩菓 **たむら**

●本店 長野市伊勢宮1-18-14 TEL026-228-9235 [営業9:00~18:00/月曜定休] ●ながの東急店 ながの東急百貨店本館地下1階 TEL026-226-8181 (代)

の皆さんと楽しいひと時を過ごしました。

とれたて野菜、リンゴ、ブドウ、おにぎり、フランクフルト、サンドウィッチの各ブースの皆様、交通安全を呼びかける警察ブースなど多くの皆様のご協力のもと、無事開催できました。ありがとうございました。

10月31日（火）

りんご狩り 葉摘み体験

好天に恵まれて、今年も裾花中学校の生徒14人、先生6人他で平柴区の西村農園さんにおじゃまを致しました。西村社長さんから、葉摘みの仕方「おいしくな〜れ。おいしくな〜れ。」と言いながら作業してくださいとお話があり、皆さん真剣に作業。おいしいりんごを食べたり、お土産をいただいたり、楽しい時間を過ごしました。



11月6日（月）

防災部会 研修会実施

「忘れまじ豪雨災害」平成18年7月豪雨災害にみまわれた岡谷市湊地区の当時の状況、その後の復興について、岡谷市危機管理室の職員より、「昔から災害のない町、岡谷がどうして。」熱心に説明していただきました。私達の住む安茂里と共通しているところが多々あり、今後の対策に生かしたいと思いました。



11月9日（木）

安全部会 研修会実施

須坂市にある2カ所のラウンドアバウトと、建設予定の1カ所を視察。須坂市役所の担当の方に積極的に質問をし、理解を深めました。

11月12日（日）

第47回福祉バザー開催

お互いに支えあう、思いやりとやさしさをもった助け合える地域づくりをめざして、今年も企業様よりの提供品、ご家庭で眠っている未使用の品物をご提供いただきました。350名の皆様よりご協力を賜り無事開催できましたことに感謝申し上げます。収益金は安茂

里地区の福祉活動に使用させていただきます。ありがとうございました。



11月13日（月）

溪流合同調査実施

治山、砂防、治水対策委員会は、11月13日、県、市、住自協合同の溪流現地調査を実施しました。太田沢、寺沢、金山沢の三沢において、現在の状況を確認しました。今年は、8月1日の大雨、大風による倒木が多数あり、防災、減災の観点から早急の工事を依頼しました。この調査は毎年秋に行われ、災害のない安茂里を目指して活動しています。



長工生の設計によりウォーキングロード部分完成

裾花川右岸、あやとり橋より上流へ、長野工業高等学校土木工学科の授業の一環として、計画、立案されたウォーキングロード。このほど舗装工事も完了し、いよいよ安茂里側も整備されるようです。次年度以降の整備に期待しています。



シリーズ 介護予防活動

犀北はつらつクラブ

木下 麻才美

クラブの発足は令和元年の5月、今年で5年目を迎えました。

仲間と楽しく♪心と体を動かし、いつまでも元気で！を合言葉に毎週金曜日の午前10時から犀北集会所で参加者18名が無理をせず、自分に合った体勢でストレッチと筋力トレーニングを行っています。

感染対策をしながらCDに合わせてラジオ体操第1の準備運動から始まり、「はつらつ体操」へと続きます。

「はつらつ体操」が始まると数を数えるみんなの音が、どこからともなく聞こえてきます。

その後、10分ほどの水分補給の時間は、すべておしゃべりタイム！お口の筋力トレーニングに早変わり。時間を忘れるほど普段できないお話をしたり、みんなで笑ったりと、楽しみの時間のひと時です。

参加者からは、老化していく体を少しでも食い止めてくれる助けになりそう…ひとりではできない体操も仲間と一緒にだとできる、それも楽しく…コロナ禍で外出もままなら

ず週一の体操、そしておしゃべり楽しみ！…お昼ご飯がおいしい！…

そのような活動の中で、今年9月にAC長野パルセイロの元選手大橋良隆さんを招いて、手・足・そして、ボールを使いながらの「にこにこ脳活体操」に取り組みました。

参加者からは、新しい事にチャレンジするのは難しいなあ～と口々に言っていましたが終わってみると誰もが明るい笑顔になり、楽しかったよ！又やりたいよ！今日は良く笑ったよ！と言いながら集会所をでました。

人とおしゃべりをしたり、笑ったりすることも脳トレのひとつですネ!!!



役員・区長合同研修旅行に参加して

大門区長 寺澤 伸一

10月17日（火）と18日（水）の両日、秋晴れの中、住民自治協議会の部長、副部長等役員と区長による「役員・区長合同研修旅行」があり、初めて参加させていただきました。開催はコロナ禍により令和元年度以来4年ぶりの実施とのこと。総勢27名、うち区長参加は9名でした。

印象的だった研修は、「聴導犬」と「介助犬」の2種類の補助犬を育成している、上伊那郡宮田村にある日本聴導犬協会の視察研修でした。

実際に育成者に、障がいのある方と犬とのやり取りの様子をデモンストレーションで見せていただきました。目覚まし時計が鳴ったら、聴覚障がいのある方が寝ているところに「聴導犬」が起こしに行く様子や、「聴導犬」が、火事

を伝えるために玄関の外からドアを強くたたき音に反応して、玄関まで聴覚障がい者を連れて行く様子を見せていただきました。

また、聴覚と肢体に障がいのある方が、車イスの状態でコインやカードを落としたり、それを器用に口でくわえて障がい者の手元に届ける「介助犬」の様子にも感心させられました。

人にとって必要な音だけを聞き分けて障がいのある方に教える「聴導犬」、聴覚と肢体に障がいのある方ができないことを代わって行う「介助犬」、いずれも、その都度ご褒美のえさを与えながら、一つ一つ異なる音に対応したそれぞれの行動を犬に覚えさせたことが窺えて、スタッフによる粘り強い育成活動の成果を感じることができました。

同協会は1996年からすでに27年間の実績のある施設。主に保護犬や譲渡犬を活用して、適性のある犬のみを「聴導犬」と「介助犬」に育成しますが、その育成には3年ほどかかり、1頭の育成に約200万円が必要とのこと。一方、育成された「聴導犬」と「介助犬」は障がいのある方に無料で貸与され、アフターケアも無料で提供されています。そしてこうした同協会の活動費は、その98%が寄付で支えられているとのことでした。

多くの篤志家の皆様の支えにより、日当たりのよい平らな敷地の立派な施設で「聴導犬」と「介助犬」が育成されていることを目の当たりにし、秋の柔らかな日差しの中、心温まる思いで施設を後にしました。



マルコメ株式会社
長野市安茂里883
TEL 026-226-0255
FAX 026-227-9288